

平成 18 年 3 月 30 日

## 当行の格付けについて

株式会社山梨中央銀行（頭取 小野 堅太郎）は、株式会社格付投資情報センター（R & I）による格付け見直しにおいて、発行体格付け A +（シングル A プラス）を維持いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 格付けの内容

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 格 付 け | A +（シングル A プラス）（注 1）<br>格付けの方向性：「安定的」 |
| 格付け対象 | 発行体格付け（注 2）                           |
| 格付け機関 | ㈱格付投資情報センター（R & I）（注 3）               |

#### 2. 格付けについて

「格付け」は、法令や制度の規定によってなされる企業のディスクロージャーを、「信用力」という側面から補完するとともに、マーケットにおける基本情報として利用されております。

また、昨今は、お取引先や投資家のみなさまから、金融機関に対してより透明性の高い情報開示の要請が高まってきております。

このため、当行では、経営内容をご理解いただくための一環として、客観的な第三者機関により、当行の安全性、健全性に対して評価を得ることが重要であると考え、平成 14 年 3 月、国内最大手格付け機関である㈱格付投資情報センターから格付け（「A +」シングル A プラス）を取得いたしました。

㈱格付投資情報センターでは、毎年格付けの見直しを行っており、平成 18 年 3 月 30 日に、当行の発行体格付けは「A +（シングル A プラス）」を維持、格付けの方向性は安定的であると発表いたしました。

(注1):「格付け」の区分(等級)や符号の意味

格付けの等級や符号の意味は、格付け会社によって若干異なりますが、(株)格付投資情報センター(R&I)では、格付け記号はAAAからCまでの9等級に分けており、さらにAA格からCCC格については、同一等級内の相対的な位置を示すものとしてプラス(+)、マイナス(-)の表示をしております。

(注2):発行体格付け

「発行体格付け」とは、(社債等の)発行体が発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力に対する(株)格付投資情報センター(R&I)の意見です。

(注3):(株)格付投資情報センター(R&I)

平成10年4月に日本インベスターズサービスと日本公社債研究所が合併してスタートした、わが国最大の格付け機関です。同社の社債格付けは、わが国で発行された社債のほとんどを網羅し、広く市場関係者から高い評価を受けています。

また、同社は「企業内容等の開示に関する内閣府令」が指定する格付け機関5社に選ばれており、金融検査マニュアルにおける信用格付けの際の格付け機関にも指定されるなど、その信頼度には極めて高い評価が与えられております。

以上